

学びの成果を発表
町観光協会で高校生ガイドツアー

11月29日、県立高千穂高等学校の未来探究科目において、高千穂の観光や歴史を学び「高千穂検定」を受検した2年生が、小中学生を対象に、榎觸神社周辺のガイドツアーを行いました。

ガイドを行った佐藤優芽さんは「分かりやすい言葉で、分かりやすく伝えるよう考えた。親しみを持てるよう話し掛けることを心掛けた」「次は話題のネタを考え、楽しく話しながら案内したい」と話しました。



自身の健康と高齢者への気遣い
車いすを送り続けて8年目

11月18日、白瀬美保子さん（上野）が、本町に車いすを1台を寄贈しました。

白瀬さんは「今年も健康に過ごし贈ることができた。車いすは高齢者の行動範囲を広げるためにも必要なもの。有効に活用してください」とあいさつ。

町長は今回で8台目。これまでさまざまな施設で活用しており、高齢者に優しい町づくりが必要ことから、大変ありがたいとお礼を述べました。



建設業を身近に感じる
土木の日ふれあい祭り2025

11月29日、町総合公園で、高千穂地区建設産業団体連合会、西臼杵支庁、西臼杵3町主催による「土木の日ふれあい祭り2025」が行われました。

毎年、「土木の日」（11月18日）にちなんだ恒例行事として、住民生活に重要な役割を果たす土木の取り組みに親しんでほしいと開催。工事現場の見学会や建設機械の乗車体験、カードゲームやパネル展示など、多くの来場者でにぎわいました。



完成に向け更なる祈願
町観光協会新社屋の上棟式

11月18日、三田井中心部に建設が進められている町観光協会・竹尾通洋会長の新社屋の上棟式が行われました。

式には、関係者58人が出席し神事が執り行われました。

竹尾会長は「町民や観光客など多くの人が訪れる場所として、町や観光の発展に役買えれば」とあいさつ。

式終了後、せんぐまきが行われ、多くの人と工事の安全と無事な完成を祈願しました。



【高千穂町表彰条例に基づき、町の政治、経済、教育文化、厚生、衛生など各般にわたって
町政の振興に寄与・貢献された方々を「町民のつどい」において表彰しました】

文化推進活動

興梠 幸男さん（芝原西）

昭和58年から41年の永きにわたり、高千穂町文化財保存調査委員として文化財の保存・調査活動に尽力され、「鳥屋岳悠久の森」をはじめとする環境保護活動や小中学校の地域学習や貴重植物鑑賞会を開催するなど、地域文化の振興に大きく貢献されました。



子ども見守り活動

田邊 忠士さん（三田井東）

平成26年から12年の永きにわたり、毎朝、児童生徒や地域住民に交通安全上の注意を呼びかけるなど、街頭指導や元氣なあいさつを通じて子どもの見守り活動を行っており、青少年の事故防止や誰もが安心して生活できる明るいまちづくりに寄与されました。



公民館女性部活動

喜田 鉦子さん（町区）

平成13年から町区公民館の女性部長に就任し、公民館女性部の活動や運営に尽力されるなか、平成24年から、高千穂町公民館女性連絡協議会の会長として、12年の永きにわたり公民館女性部の円滑な運営に精力的に取り組むなど、地域の振興に寄与されました。



明るい町づくり事業

優秀作品表彰

高千穂町商工会青年部（田尻哲朗部長）による「明るい町づくり事業」の優秀作品表彰式が行われました。

この事業は、地域活性化を目的として、毎年町内の小学6年生を対象に作品を募集。16回目の今回は「みなのかみ」で彩る高千穂」をテーマに77作品の応募があり、その中から選ばれた12作品が表彰されました。

今後、応募された作品すべてが、小旗として町内に飾られることとなります。

